

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局):教育委員会

【9月分】

課(室):スポーツ健康課

その1

担当者:芝山玲子(内線)3354

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第42回JBCF全日本トラックチャンピオンシップ 男子ケイリン	1位	H23.9.4	佐野 伸弥 (MINOURA大垣レーシング)	佐野は11秒429で優勝した。 (大阪府河内長野市:関西サイクルスポーツセンター)
文部科学大臣杯 第67回全日本大学対抗選手権自転車競技大会				
女子個人ロードレース50.4km	2位	H23.9.4	明珍 裕子 (朝日大4年)	明珍はトップと28秒差の1時間35分44秒で2位となった。 (長野県大町市:公道周回コース)
女子学校対抗	3位	H23.9.4	朝日大	朝日大学は学校対抗で3位となった。
男子4000m個人追抜き	3位	H23.9.4	矢野 智哉 (朝日大1年)	矢野は4分49秒221で3位となった。 (長野県松本市:かりがね自転車競技場)
男子タンデムスプリント	3位	H23.9.4	松本 諒太・沼田 明久 (朝日大2年・1年)	松本・沼田ペアは3位入賞を果たした。 (同上)
男子4000m団体追抜き	3位	H23.9.4	朝日大 (河合 聖・今西 薫 谷岡 駿・矢野 智哉)	朝日大は4分33秒107で3位となった。 (同上)
第46回全国都道府県対抗自転車競技大会				
少年男子2400mポイントレース	1位	H23.9.8	橋本 英也 (岐南工高3年)	橋本は54点を獲得し、2位を大きく引き離し、見事優勝した。 (岐阜県岐阜市:岐阜競輪場)
成年男子1000mタイムトライアル	2位	H23.9.8	加藤 良治 (順天堂大4年)	加藤は1分9秒026で2位となった。 (同上)
男子4000m団体追抜き	1位	H23.9.9	岐阜県選抜 (矢野 智哉・橋本 英也 高橋 翔太・加藤 良治)	岐阜県選抜は大会新記録となる4分29秒578で見事11度目の優勝を飾った。 (同上)
少年男子ケイリン	3位	H23.9.9	長尾 拳太 (岐阜第一高3年)	長尾は3位となった。 (同上)
女子16000mポイントレース	2位	H23.9.9	明珍 裕子 (朝日大4年)	明珍はポイントレースで16点を獲得し、2位となった。 (同上)
女子個人ロードレース42.6km	2位	H23.9.10	明珍 裕子 (朝日大4年)	明珍は42.6kmを1時間4分38で走破し、2位となった。 (岐阜県美濃市:美濃市特設ロードレースコース)
男子総合	1位	H23.9.10	岐阜県男子	岐阜県男子は総合成績で49点を獲得し、見事初優勝した。
女子総合	3位	H23.9.10	岐阜県女子	岐阜県女子は総合成績で14点を獲得し、3位となった。
天皇賜盃 第80回日本学生陸上競技対校選手権大会				
女子5000m	3位	H23.9.10	森 知奈美 (佛教大3年)	森は15分55秒35で3位となった。 (熊本県熊本市:熊本県民総合運動公園陸上競技場)
女子三段跳び	3位	H23.9.10	吉田 麻祐 (福岡大4年)	吉田は13m03で3位となった。 (同上)
女子10000m競歩	3位	H23.9.11	大和 千秋 (中部学院大3年)	大和は47分50秒36で3位となった。 (同上)
女子走り幅跳び	3位	H23.9.11	桐山 知恵 (中京大2年)	桐山は6m09で3位となった。 (同上)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
平成23年度全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会					
少年男子ビームライフル立射60発	1位	H23.9.9	古田 晃希 (関有知高3年)	古田は693.0点で見事優勝した。 (岐阜県加茂郡:白川町特設ライフル射撃競技場)	
	2位	H23.9.9	村瀬 友哉 (郡上北高2年)	村瀬は685.0点で2位となった。 (同上)	
	3位	H23.9.9	山内 直弥 (郡上北高1年)	山内は680.4点で3位となった。 (同上)	
少年女子ビームライフル立射40発	1位	H23.9.10	時田 亜也加 (鶯谷高2年)	時田は500.8点で見事優勝した。 (同上)	
	2位	H23.9.10	吉田 明香 (岐阜メモリアルビームライフルクラブ・ 東濃長中3年)	吉田は496.9点で2位となった。 (同上)	
少年男子ビームライフル立射30発	1位	H23.9.11	土屋 陽平 (済美高2年)	土屋は313.6点で2位に10点以上の差をつけ、見事優勝した。 (同上)	
	2位	H23.9.11	溝端 勇斗 (関有知高1年)	溝端は303.4点で2位となった。 (同上)	
	3位	H23.9.11	永井 良平 (済美高1年)	永井は303.0点で3位となった。 (同上)	
少年女子ビームライフル立射20発	1位	H23.9.11	本田 光希 (済美高2年)	本田は日本新記録および大会新記録となる210.6点で見事優勝した。 (同上)	
	2位	H23.9.11	松巾 亜由 (済美高2年)	松巾は208.3点で2位となった。 (同上)	
平成23年度日本カヌースプリント選手権大会					
500m男子カヤックペア	1位	H23.9.10	渡辺 大規 他 (トヨタカローラ岐阜)	渡辺は500mカヤックペアを1分29分430、200mカヤックペアを35秒627、200mカヤックシングルを38秒863で制し、見事3冠を達成した。 (石川県小松市:木場潟カヌー競技場)	
200m男子カヤックペア	1位	H23.9.12	渡辺 大規 他 (トヨタカローラ岐阜)		
200m男子カヤックシングル	1位	H23.9.12	渡辺 大規 (トヨタカローラ岐阜)		
第7回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会					
1000m男子カナディアンシングル	3位	H23.9.9	田中 優作 (八百津高2年)	田中は1000mで4分51秒295、200mで47秒013をマークし、両種目で3位入賞を果たした。 (石川県小松市:木場潟カヌー競技場)	
200m男子カナディアンシングル	3位	H23.9.11			
第64回全日本フェンシング選手権大会					
女子サーブル個人	1位	H23.9.11	中山 セイラ (大垣共立銀行)	中山は1点差で決勝を制し、見事大会2連覇を果たした。 (東京都渋谷区:国立代々木競技場第一体育館)	
女子エペ個人	1位	H23.9.11	中野 希望 (大垣共立銀行)	中野は15-9で決勝戦を制し、見事優勝した。 (同上)	
第66回国民体育大会(山口)					
水泳(飛込)	成年男子高飛込	2位	岡本 優 (岐阜県体協)	岡本は高難度の技を連続し、トータル452.90点を記録したが、最終6本目の試技で逆転され、惜しくも2位となった。 (広島県広島市:広島市総合屋内プール)	
体操(新体操)	少年女子総合	3位	NPOぎふ新体操クラブ (高田 夏穂・小出 菜子美・大西 彩貴・ 舩中 美月・服部 華歩)	NPOぎふ新体操クラブは前半の個人を首位で折り返すと、後半の団体も高難度の技で高い評価を得たが、逆転され、惜しくも3位となった。 (山口県山口市:山口県スポーツ文化センター)	
第54回全日本社会人バドミントン選手権大会					
女子ダブルス		2位	脇田 侑・江藤 理恵 (文楽堂・丸栄コンクリート工業)	脇田・江藤組は準決勝で接戦を制したが、決勝ではストレートで負け、惜しくも2位となった。 (愛知県一宮市:一宮市総合体育館)	
女子シングルス		3位	梅津 知恵 (岐阜県体協)	梅津は準決勝で敗れ、惜しくも3位となった。 (同上)	
第89回全日本ボート選手権大会 女子シングルスカル		2位	若井 江利 (TAKAOドリーム)	若井は8分04秒33で2位となった。 (埼玉県戸田市:戸田ボートコース)	

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)	
2011全日本セーリング選手権大会					
国体ウインドサーフィン級	成年女子	1位	H23.9.19	小嶺 恵美 (大垣共立銀行)	小嶺は得点合計20点で成年女子の部で1位、総合で2位となった。 (愛知県蒲郡市:海陽ヨットハーバー)
	総合	2位			
	成年男子	2位	H23.9.19	金子 岳司 (大垣共立銀行)	金子は得点合計23点で成年男子の部で2位、総合で3位となった。 (同上)
	総合	3位			
第13回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会					
セーリングスピリッツ級	成年女子	1位	H23.9.19	伊藤 淳子・渡邊 絵美 (大垣共立銀行・共立ビジネスサービス)	伊藤・渡邊組は得点合計10点で成年女子の部と総合の部で2冠を達成した。 (同上)
	総合	1位			
高松宮妃記念杯第57回全日本実業団ヨット選手権大会 国際470級					
		2位	H23.9.19	西村 祐司・大嶋 龍介 (大光・岐阜県体協)	西村・大嶋組は得点合計13点で2位となった。 (同上)
2011年度全日本社会人ホッケー選手権大会					
女子	1位	H23.9.21	ソニーHC BRAVIA Ladies	ソニーHC BRAVIA Ladiesは決勝まで順調に勝ち上がったが、雨天中止により不戦で優勝となった。 (岐阜県各務原市:岐阜県グリーンスタジアム)	
男子	3位	H23.9.21	RIVERSOUL岐阜	RLVERSOUL岐阜は3位決定戦に進んだが、雨天中止により不戦で3位となった。 (同上)	
第31回世界新体操選手権大会					
団体総合	5位	H23.9.24	日本 (松原 梨恵 他)	日本チームは大きなミスなく、ボールで26.250点、リボン・フープで26.475点をマークし、トータル52.725点で団体総合5位に入り、見事2大会連続3度目の五輪出場を決めた。続く団体種目別ボールでは5位、団体種目別リボン+フープでは7位に入賞した。 (フランス:モンペリエ)	
団体種目別ボール	5位	H23.9.25			
団体種目別リボン+フープ	7位	H23.9.25			
第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会					
女子400m	1位	H23.9.25	青木沙弥佳 (東邦銀行)	青木は400mを53秒90、4×400mリレーを45.73秒でそれぞれ優勝するとともに400m障害も57秒22で2位入賞を果たした。 (徳島県鳴門市:鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム)	
女子400m障害	2位	H23.9.24			
女子4×100m	1位	H23.9.25	東邦銀行 (青木沙弥佳 他)		
女子4×400m	2位	H23.9.24	トヨタ自動車 (吉村 美紀 他)	吉村はアンカーで出場し、4分19秒12で2位となった。 (同上)	
女子走高跳	2位	H23.9.25	三村 有希 (岐阜県体協)	三村は1位に3センチ及ばず1m78で2位となった。 (同上)	
男子ハンマー投げ	2位	H23.9.24	田中 透 (岐阜県体協)	田中は66m76を投げ、2位となった。 (同上)	
男子110m障害	1位	H23.9.25	岩船 陽一 (サンメッセ)	岩船は13秒82で見事優勝した。 (同上)	
男子やり投げ	1位	H23.9.25	荒井 謙 (七十七銀行)	荒井は76.41mを投げ、見事優勝した。 (同上)	
男子100m	3位	H23.9.25	齋藤 仁志 (サンメッセ)	齋藤は2位に0.01秒差の10秒40で惜しくも3位となった。 (同上)	
U18 第3回アジアカップ2011 ホッケー女子	1位	H23.9.25	日本 (廣瀬 心・永井 葉月・ 真野 由佳梨・尾関 愛美 他)	予選Aプールを2位で通過すると、決勝トーナメントでインド、中国を下し、見事初優勝した。 (タイ:バンコク)	